

「桜通勤 2017 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

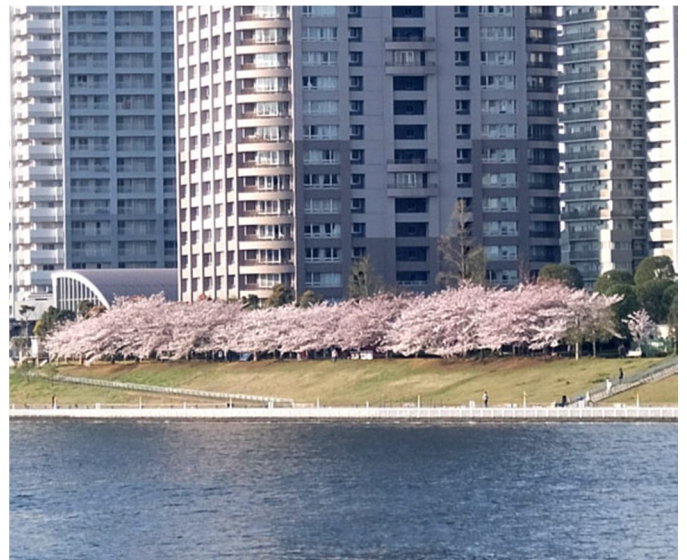
今朝、もう一度永代橋を渡ったら、昨日よりもずっと桜がたくさん咲いていた。少し戻って、永代橋からの風景を見ていただこう。今朝は快晴で、朝から気温も高く、絶好の自転車通勤日和だった。



これが私の通勤路、永代橋からの眺めである。写真左側が江東区側、対岸が中央区側である。中央区側は更に隅田川の分流で隔てられ、中央大橋で結ばれている。中央大橋の左側は、佃島の高層マンション群となっている。たとえ桜が咲いていなくても、東京のウォーター・フロントの素晴らしい眺めである。



高層マンションの「麓」には、桜樹がたくさん植えられている。休日には家族連れで賑わうところだ。その向こうに見えるのは「相生橋」で、清澄通りが走っている。



望遠で見ると、本当に桜が満開である。この隅田川の下を、東西線と大江戸線が通っている。地下鉄に乗っているのは、もちろんこの風景は見られない。自転車通勤ならではの「特典風景」と言えるだろう。



永代橋を渡ると、そのまま永代通りを大手町方面に進んでも良いが、私は右に折れて、日本橋川沿いの裏道を進む。日本橋川は、隅田川に流れ込む一番下流の支流である。写真は合流点から2番目の「湊橋」で、橋の右岸と左岸に桜が満開だった。自転車はこの橋を渡って左折、箱崎インター出口を通過して、小網町方面へと進む。